

平成24年度 事業報告書

居宅介護支援事業所 大慈園

1. 《法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《基本方針》

- ①法人の設立方針である「和顔愛語・上敬下愛」を基本方針として、高齢者の人権を尊重する。
- ②介護保険に関する法令の趣旨に従い、公平中立な立場から決定可能な限り居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるよう、又、自己決定ができるように援助する。
- ③地域包括支援センターの受託法人の居宅介護支援事業所として、必要時には地域包括支援センターと連携し、地域に根ざした居宅介護支援事業所を目指す。

3. 《実績》

<給付管理数>

請求合計1,637件(昨年度より46件増)

延べ人数 男性:528人 女性:1,109人 平均要介護度:2.4

月平均:136件。充足率87.7%(昨年度より5%減)

(要介護度・男女別介護報酬請求状況)

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
4月	10	29	18	30	15	13	3	16	2	9	145
5月	10	25	17	28	14	14	3	17	2	8	138
6月	8	25	17	30	12	23	4	17	2	7	145
7月	9	27	18	29	13	18	3	14	2	7	140
8月	10	25	19	28	14	16	2	15	2	7	138
9月	10	23	19	29	13	18	3	15	2	7	139
10月	9	21	18	29	12	16	4	15	2	8	134
11月	9	27	14	29	10	15	4	16	2	7	133
12月	10	27	16	30	12	17	4	15	2	7	140
1月	10	25	14	29	12	15	5	14	2	8	134
2月	10	24	14	27	12	18	3	12	3	10	133
3月	7	26	16	26	11	18	5	14	3	9	135

4. 《目標に対しての報告》

- ①ケアプラン担当件数を一人当たり担当可能な数の95%の維持。

⇒昨年度より介護保険請求件数は増えたが、充足率は87.7%にて目標値には届いていない。

これは昨年、パート職員であった職員がフルパート職員となり担当できる件数が昨年の147件から156件に増えた為と、施設入所をされる方や病院に長期入院をされる方が多かつ

た為と思われる。新規での担当ケースは45件で、月平均3.7件

②介護支援専門員としての資質の向上

⇒今年度より事業所の加算要件として研修計画が義務付けられ、奇数月に開催されている西神地区ケアマネジャー連絡会での勉強会には必ず参加をし、内部での研修を地域包括支援センターと合同で年間6回実施。

困難な事例については地域包括支援センターと対応を行ったが虐待事例1件については解決に至らず継続して対応を行っている。

(内部研修実施内容)

4月：四つ葉のクローバー協会による身元保証サービスについて

6月：ヤマシタコーポレーションによる平成24年4月よりレンタルが可能となった福祉用具について

8月：ことぶき居宅介護支援センターによるケアプランチェックについて

10月：いぬい社会福祉士事務所による成年後見制度について

1月：いぬい社会福祉士事務所による任意後見制度について

3月：デイサービスあさんて加藤氏による認知症の方のケアプランについて

③ケアプランの質の向上

⇒事業所独自のチェックシートを活用し、プランの点検をする予定であったが、制度改正の対応でチェックシートを作成することができなかった。研修や勉強会には各自積極的に参加をした。

(参加研修内容)

参加研修内容	研修主催者	参加人数
介護保険報酬改定及び内容の解釈について	神戸市ケアマネジャー連絡会	4名
訪問におけるリハビリテーションの可能性	訪問看護ステーションきらり	4名
分かりやすい脳卒中の捉え方	訪問看護ステーションきらり	3名
変形性膝関節症のリハビリテーション	訪問看護ステーションきらり	2名
パーキンソン病のリハビリテーション	訪問看護ステーションきらり	4名
認知症事例検討会	西神戸医療センター	3名
抗認知症薬について	西神戸医療センター	1名
在宅・施設で行う摂食・嚥下のケア	神戸市西区歯科医師会	1名
神戸市自立支援型ケアマネジメント研修	神戸市保健福祉局	1名
グリーンケア研修会	兵庫県精神保健福祉センター	3名
兵庫県立がんセンター地域医療交流会	兵庫県立がんセンター	1名
高齢者虐待防止研修	西区保健福祉部	1名
西神地区ケアマネジャー連絡会	西神地区地域包括支援センター	4名
主任介護支援専門員の求められる役割と期待	西区ケアマネジャー連絡会	2名

5. 《会議》

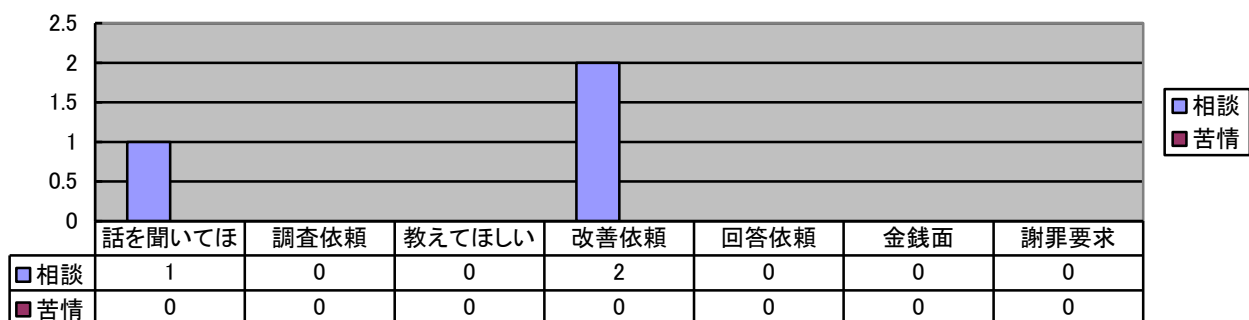
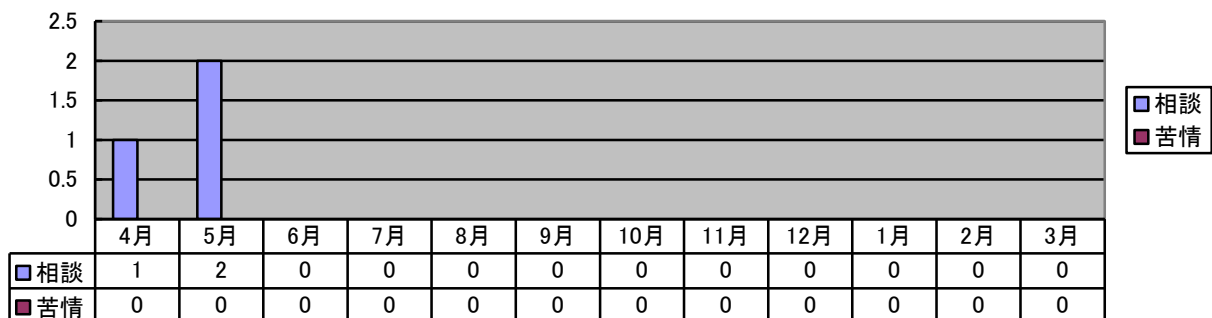
法人内	地域
あんすこ・居宅内部会議	西神地区ケアマネジャー連絡会
大慈園での委員会等	

6. 《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数

平成24年度				平成23年度			
報告件数	合計件数	苦情	相談	報告件数	合計件数	苦情	相談
	3件	0件	3件		11件	0件	11件



○まとめ

当事業所ではなく、居宅サービス事業所に対してのサービス内容に対する不服が3件みられた。介護保険サービスの調整役として家族様やご本人様からサービス事業所に対しての要望・愚痴をよく耳にするが、それに対してケアマネが対応をしようとしても「別にいいから」と対応を拒否をされる場合が多い。また逆に、介護保険サービスに対して過度な期待をし、利用をしたものの期待通りではないとサービス利用をやめられる場合もある。制度上利用者が望む内容全てが介護保険サービスで対応できない場合もある為、担当者会議等にて詳細な説明を行っていく必要がある。

7. 《総括》

昨年度に比べ給付管理数は増加しているが、充足率は目標値には届かなかった。初回加算算定者は45名となっており昨年度に比べ22名減。これは併設の地域包括支援センターの担当件数の上限が設定されたため、要支援の認定から他居宅介護支援事業所へのケアプラン委託数が増え、要介護の認定がでもそのまま他居宅介護支援事業所が継続して担当をされる事が原因と思われる。

介護支援専門員としての質の向上に関しては、今年度も行政の監査やケアプランチェックが実施されず研修や勉強会には積極的に参加はしているものの、現在作成をしている帳票類の内容で良いのか不安がある。今後も研修会や勉強会等には可能な限り参加をし、自信をもってケアプランの作成ができるよう質の向上に努めたい。